

桜梅桃李

大島町立第一中学校

2 学年 学年通信

R4.7.4 第 27 号

働くとは？(道徳の授業より)

6月27日(月)に実施した道徳で、職場体験に向けて「働くとは」について考えました。柳家金語楼やなぎやきんごろうという明治・大正・昭和に活躍した落語家の生き方についての教材「金語楼さんのこと」を使用しました。柳家金語楼はその時代には知らない人がいないほどの有名人で、様々なテレビ番組に出演していた人物であったようです。教材では、金語楼が亡くなる年の1972年の夏、多忙なスケジュールの中、金語楼は老人ホームへの慰問を予定していました。しかし、金語楼はひどい高熱だったので、マネージャーが勝手に慰問中止の連絡を入れてしまいました。それを聞いた金語楼はマネージャーを叱りつけ、「無料の出演だからといって取りやめにはできない」と言って高熱の中、慰問を実行したそうです。高熱の中の出演であったにもかかわらず、一度壇上に立つと、ぴんと背筋を伸ばし愛嬌たっぷりの笑顔で会場を爆笑の渦に包んだそうです。出演が終わってもサインや記念撮影にも快く応じ、奉仕の仕事だからと言って1ミリも手を抜かなかったそうです。金語楼はそのような多忙なスケジュールや夏の暑さがたたり、その慰問の3か月後に死去されたそうです。そんな柳家金語楼の「働く」ということへの向き合い方から、「働く」とはどういうことなのかについて考えました。以下は授業を終えて、生徒が「働く」とはどういうことかについて、考えたものです。どの生徒も「働くこと」についての考えを深めていました。明日からの職場体験で、実際に働く人と関わり、どのような思いで働いているのかについても、さらに考えてほしいと思います。



- ・働くとは、サポートすることだと思う。皆のためなら何でもやるという気持ちが大切。
- ・お金が全てではなく、世のため、人のために働くことが大切だと思った。
- ・働くとは、お金をもらうだけでなく、誰かのために思ってやっていること。
- ・働くことには、自分が誰かの役に立ったり、誰かを楽しませたりすることに意味がある。
- ・お金だけではなく、お客さんなどへの感謝の気持ちをもって働くことが大切。
- ・周りからの信頼を得ることと、自分の選んだことを一生懸命やること。
- ・働くとは人からの信頼の上に成り立っているもの。お金よりも大切なことがあることに気付ける。
- ・自分のためだけではなく、その他のいろんな人も関わってくる。
- ・自分の責任を果たすこと。

合唱曲決定！！

7月1日(金)の6時間目に一中祭に向けた合唱曲決めを行いました。今年度は「HEIWAの鐘」に決定しました。この曲は沖縄のシンガーソングライターの中里幸広さんが作詞・作曲した曲で、沖縄の戦争と平和をテーマにした曲です。アップテンポで勢いのある曲調になっていますが、ハモリ部分の多い曲になっています。勢いに任せすぎて音を外さないように気を付けなければならないのも特徴です。昨年の「怪獣のバラード」では、クラスの勢いを発揮することができました。今年度はその勢いにハーモニーをプラスして、更に成長した姿を見せられるように頑張っしてほしいです。

